

心を開く図書館

第3グループ

東洋大学	野村礼奈
金城学院大学	今井和佳子
国士館大学	小畑富雄
鶴見大学	近藤聡子
立正大学	島田貴司
松山大学	松井千代美
国立音楽大学	高田涼子

2009. 11. 11-13
平成21年度大学職員情報化研究講習会
第4分科会

図書館が実施している活動の現状と課題、そして提案

学生が利用しやすい図書館づくり

現状	課題	提案: アナログ的なICT活用
<ul style="list-style-type: none"> HP上での「探し方Q&A」の公開 OPAC画面など視覚的なガイドの作成 TAなどによる学生サポーター ブログ発信(図書館員): ニュースやお知らせ(貴重書を含む)テーマ展示 選書ツアー パスファインダー作成 希望制ガイダンス、出張ガイダンス 学生アルバイトによる図書館ツアー 広報誌 イベント、講演会 貴重書デジタル化の公開 	<ul style="list-style-type: none"> PRが下手 カウンターの外に出る！！ 不平等: 認知度の差 図書館ビジョンを明確に謳う マニュアル化 ツールの活用 レファレンス事例の蓄積 対面コミュニケーションが苦手 学生との接し方 ピアサポートの活用と学生の研修 レファレンス内容の住み分けが必要 web上での公開、TAなど学生の活用、専任職員への質問 	<ul style="list-style-type: none"> 他部署を巻き込んだ体制 教員、学生、院生との連携 なんでも相談コーナー 学生との接点を設ける 図書館基本データベース(全大学共通)共有 居心地の良い設備(PC、イス、ひまがけ) ポイント制の導入と特典 * 返却期限内、ガイダンス受講など ブログの発展: 発信 Q&A: コミュニケーションの場

* メンバーからの意見を列記したため順不同。
(項目に挙げられている「現状」に対しての課題や提案ではない。)

グループ分けすると...

学生が利用しやすい図書館づくり

現状	課題	提案: アナログ的なICT活用
HP上での「探し方Q&A」の公開	● PRが下手	● 他部署を巻き込んだ体制
OPAC画面など視覚的なガイドの作成	△ カウンターの外に出る！！	● 教員、学生、院生との連携
TAなどによる学生サポーター	△ 不平等: 認知度の差	△ なんでも相談コーナー
ブログ発信(図書館員): ニュースやお知らせ(貴重書を含む)テーマ展示	● 図書館ビジョンを明確に謳う	△ 学生との接点を設ける
選書ツアー	◇ マニュアル化	△ 図書館基本データベース(全大学共通)共有
パスファインダー作成	◇ ツールの活用	● 居心地の良い設備(PC、イス、ひまがけ)
希望制ガイダンス、出張ガイダンス	△ レファレンス事例の蓄積	● ポイント制の導入と特典
学生アルバイトによる図書館ツアー	◇ 対面コミュニケーションが苦手	* 返却期限内、ガイダンス受講など
イベント、講演会	△ 学生との接し方	● ブログの発展: 発信
貴重書デジタル化の公開	◇ ピアサポートの活用と学生の研修	● Q&A: コミュニケーションの場
広報誌	● レファレンス内容の住み分けが必要	
	● web上での公開、TAなど学生の活用、専任職員への質問	

- 広報関連
- △ リテラシー教育関連
- ◇ イベント関連

1 作成途中の表を掲載しました。
全ての項目を
● 広報関連
△ リテラシー教育関連
◇ イベント関連
のどれかにグループ分けしました。

● 広報活動

現状

- HP上での「探し方Q&A」の公開
- 図書館広報誌の作成
- ブログの発信
(図書館員からのニュースやお知らせ)

課題

- PRが下手で学生等にあまり周知されていない
- カウンターの中にいるだけでは図書館の活動を知ってもらえない。

△リテラシー教育活動

現状

- ・ガイダンス・データベース講習会
(新入生向け・授業別・個別・教員申込制等)
- ・利用ガイド・パスファインダー作成
- ・TAやボランティアによる学生サポーター
- ・OPAC画面等に視覚的ガイドを作成

課題

- ・図書館のビジョンが明確に謳われていない。
- ・受講者と非受講者で不平等が生じ、認知度に差が出る。
- ・マニュアル化できていないものが多数ある。
- ・レファレンス事例をDBに蓄積し、課員間・大学間で共有化する。

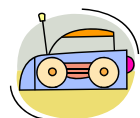
◇イベント活動

現状

- ・学生選書ツアー
- ・貴重書・テーマ別展示、デジタル化資料の公開
- ・講演会・講習会等のイベント実施
- ・学生アルバイトによる図書館ツアー

課題

- ・どうやって学生を集客するか。
- ・イベントを行う時の場所の確保。
- ・興味を惹く内容を毎回企画することが難しい。
- ・直接入館者増につながるかが疑問。



デジタルネイティブ・ICT適応能力を備えた学生

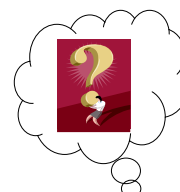


入手した情報の洪水を正しく整理し活用できているか…？

情報の取捨選択能力がない
出典、信頼性の判断ができない

⇒正しく活用するための情報リテラシー教育が必要

でも、コミュニケーション能力に問題？



正しい情報かどうかを自分では判断できない場合

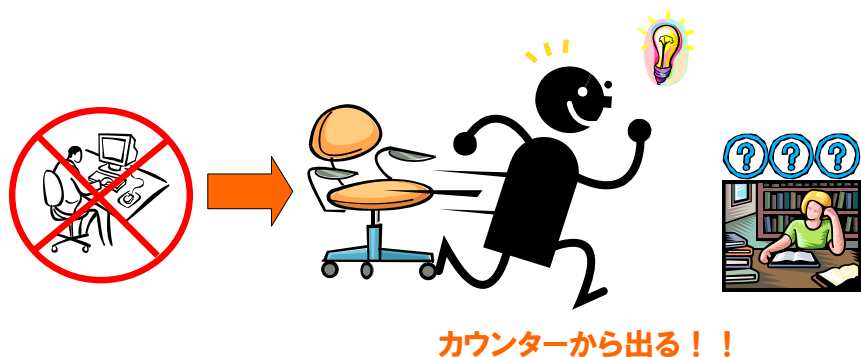


コミュニケーション能力が不可欠

分からないことを尋ねられているのか？
言いたいことを伝達できているか？
疑問を言葉にできているか？

館員からの働きかけが必要

積極的に学生の抱えている問題意識をヒヤリングする

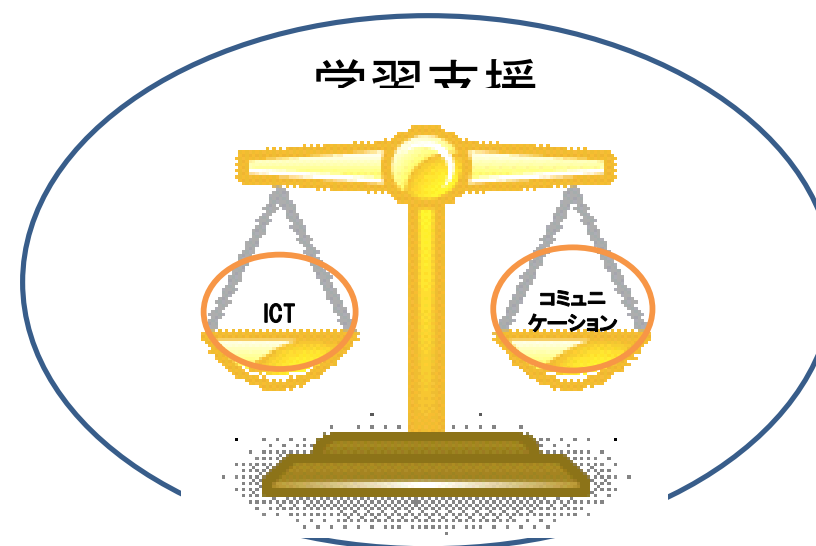


アナログ的な対応の重要性



今後実施していく学習支援活動 (提案)

広報	リテラシー	イベント	提案:アナログ的なICT活用	ICT	アナログ
		○	ポイント制の導入と特典 *返却期限内、ガイダンス受講など		○
○			ブログの発展:発信、Q&A・コミュニケーションの場	○	
	○		なんでも相談コーナー	○	○
	○		図書館基本データベース(全大学共通)共有化	○	
○	○	○	他部署の状況を把握する (ピアサポート、入試センター、就職課など)	○	○
○	○	○	教員との連携 (図書館イベント等について学生へのアナウンス)	○	○
○		○	学生、院生とのコラボレーション (バスファインダー等、学生に親しみやすい形で作成)	○	○
	○	○	学生との接点を設ける (カウンターを出て、学生に話しかけていく。多様な質問にも柔軟に対応。)	○	○
	○		居心地の良い設備(PC、イス、ひざかけ)	○	○



学生にICTを活用した学習支援を行うには
アナログ的な図書館員の人的支援が不可欠

これからの図書館員に必要な要素

図書館力



+

情報発信能力(ICT)

+

カウンセリング力 等